

高橋 和やまとさん

棋士

14歳で史上最年少の女流棋士となり活躍した高橋和さん。  
現在は吉祥寺を拠点に将棋の普及活動に情熱を注ぐ日々です。

2005年にトーナメントプロの棋士を引退してから、しばらく子育てに専念していました。息子が幼稚園に入る頃、だいぶヤンチャになってきたこともあって、落ち着いて子育てができる環境を求めて吉祥寺に引っ越してきたのが今から10年ほど前。子どもの遊び場として井の頭恩賜公園には大変お世話になりました(笑)。吉祥寺は、若者が多く都会的な一方、子育て世代も多くてコミュニティがしっかり築かれているまちなちですね。

現役時代から将棋の普及活動を行っていましたが、吉祥寺に住んではからは自宅を使った子ども向けの将棋教室や、貸しスペースを利用した女性向けの将棋教室なども開設。やがて将棋に関心のある人たちが気軽に集まれる拠点が必要ではと思うようになって、2016年、吉祥寺駅の近くに「将棋の森」をオープンしました。

将棋の初心者から、初段を目指す入門者、級位者が集う教室と道場ですが、敷居の高い場所ではなく、子どもや女性でも楽しみながら将棋と触れ合える空間にしたかったので、インテリアもおしゃれなカフェのような雰囲気になりました。平日の子ども教室

には150名の参加者が集まります。いま家庭以外で子どもが大人と交流する機会は少ないと思います。将棋盤を挟んで向かい合えば、年齢や性別は関係なく、人対人です。プロ棋士だけでなく、大学生も「おにいさん先生、おねえさん先生」として子どもたちを教えることもあります。子育ては親だけがするのではなく、地域や周りの大人が助けていくもの。私もそうやって吉祥寺の人たちに助けてもらいましたから。

楽しみながら将棋をするとはいえ、1対1の真剣勝負なので、子どもも大人も、勝てばうれしいし、負ければ悔しい。将棋は負けた時、勝者に対して自分から「負けました」と告げる特殊な競技です。負けたのは、相手が強かったからではなく、自分が相手より弱かったから。常に向き合うのは相手ではなく自分自身で、それが人としての成長につながるのです。小さな木から大きな木まで、みんなと森として成長していける場でありたいと思っています。

高橋 和 (たかはしやまと)

1976年、神奈川県生まれ。女流プロ三段。7歳より将棋を始め、14歳で当時最年少の女流プロに。2005年、将棋普及への思いから現役を引退、子育てを経て、子どもや女性への普及を中心に活動。TV・雑誌などにも多数出演。2016年、吉祥寺駅前に将棋の道場・教室・イベントスペースである「将棋の森」をオープンさせる。[将棋の森: <https://www.shoginomori.com/>]



小さな木から  
大きな木まで  
みんなと森として  
成長する場所でありたい

